

令和2年度通常総会

日 時 令和2年6月29日（月）午後2時30分
会 場 城山ホテル鹿児島 クリスタルガーデン

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

会 次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 成立宣言
- 5 議長選出
- 6 議 事
 - (1) 議事録署名人選出
 - (2) 議 案
 - 議案第1号 令和元年度事業報告及び決算の承認について
(監 査 報 告)
 - 議案第2号 理事・監事改選について
 - (3) 報告事項
 - 令和2年度事業計画及び予算について
- 7 その他
- 8 閉 会

(休 憩)

- ◇ 講演会
演題 「未活用生物資源を用いた食・薬・材の創生」

講師 富永 健一氏(国立研究開発法人産業技術総合研究所
食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ副ラボ長)
- ◇ プレゼンテーション
野元 潤氏((株)久永:「ワークスタイル変革～テレワーク導入のポイント」
末重 公德氏(アルバック九州(株)取締役):「真空技術 未来への期待」
佐々木 智康氏((株)食品安全推進センター代表取締役社長):「食品衛生管理
(HACCP)の制度化について」
鹿児島県知財総合支援窓口:知財総合支援窓口に関する事業紹介
- ◇ 交流パーティー (アメジスト 2F)

議案第1号 令和元年度事業報告及び決算の承認について

〔事業報告〕

(公社)鹿児島県工業倶楽部は、異業種交流・産学官連携を深めることで、会員企業及び本倶楽部が実施する事業に参加する企業の経営基盤の強化、技術の高度化、新技術・新製品の開発等を促進して、地域社会に貢献することを目的としている。

令和元年度も、各企業の価値創造力強化、本県及びわが国の経済発展に資する各種事業に取り組んだ。各委員会、各部会、異業種交流プラザ、地区プラザ、研究会では求められる社会課題に対応し、会員企業の事業活動拡充や会員相互の交流促進につながるセミナーの開催を行った。特に、「工農連携(オランダに学ぶ)研究会」では9月にオランダを訪問し、フードバレーの視察を通じて、戦略的な農産物の選択及び効率化、顧客志向の商品やサービスを創造する食品加工・食品製造に関する研究開発及び展開、スマート農業について理解を深め、今後のフードビジネス展開への支援を行った。

また、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島工業高等専門学校等との連携強化を進め、産学官で交流とネットワーク化を図ることで、それぞれが持つ「知」の集積を異分野での活用の場に広げ、会員企業の新たな事業展開につながる場を提供した。そのひとつとして、鹿児島大学で「新技術が拓く!食と健康の未来」と題する「食と健康に関するシンポジウム」を開催し、様々な革新的な研究成果を会員企業や県内企業の新たな商品化・事業化につなげる機会の創出に努めた。

さらに、中小企業等が企業経営の中で抱える知的財産権に関する悩みや課題を一元的に受け付ける「知財総合支援窓口運營業務」も行い、経営と知財を結びつけた事業の成長を支援した。

さらにまた、ベンチャープラザ鹿児島二水会の開催や会報の発行等により会員企業への情報提供などに努めた。

〔主要事業〕

1 理事会

- (1) 平成30年度決算に係る監事の監査(4/19)
- (2) 第1回正副会長会及び理事会を開催(4/22)
 - ① 平成30年度事業報告及び決算案承認(総会へ提出)
 - ② 入会の承認

(3) 第2回正副会長会及び理事会を開催 (10/9)

ア 正副会長会及び理事会を開催

レクストン鹿児島において、年度後半の事業活動等について協議

- ① 知財総合支援窓口運営業務について
- ② 入会の承認について
- ③ 商標権更新登録について
- ④ 令和2年新年大会について
- ⑤ 食と健康に関するシンポジウムについて
- ⑥ 職務執行状況報告
- ⑦ その他

イ 懇談会 (県議会産業経済委員会、県と懇談)

(4) 第3回正副会長会及び理事会を開催 (3/27)

- ① 入会の承認について
- ② 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- ③ 役員改選について
- ④ 事務局長の交代について
- ⑤ 知財総合支援窓口運営業務について
- ⑥ その他(令和2年度総会等について)

2 総会 (5/17) サンロイヤルホテル 【参加者】 90名

- ① 平成30年度事業報告及び決算の承認
- ② 令和元年度事業計画及び収支予算の報告
- ③ 講演会
演題 「プロスポーツと地域活性化」
講師 鹿児島ユナイテッドFC 代表取締役 徳重 剛 氏
鹿児島レブナイズ 代表取締役社長 小牧 正英 氏
- ④ プレゼンテーション
 - ・(株)薩摩太良院 : 地元農産物活用のおいしいお菓子の開発
 - ・かねだい食品(株) : 地域資源を活用した新特産品開発
 - ・クルーシャル・クーリング・パフォーマンス(株) : 鹿大発の大型照明を世界に!!
 - ・鹿児島県知財総合支援窓口 : 知的財産に関する無料相談窓口
- ⑤ 交流パーティー

3 第九回食と健康に関するシンポジウム 【参加者】218名

【日時】令和元年11月19日（火） 14:00～17:40

【場所】鹿児島大学稲盛会館（郡元キャンパス）

（シンポジウム概要）

～新技術が拓く！「食と健康の未来」～

- ① 体内時計を活用。睡眠を改善する食生活とは・・・産業技術総合研究所
大石勝隆
- ② スマート農業の今 in オランダ～工業倶楽部視察報告
スマート農業先進国オランダから何を学ぶか・・・鹿児島県工業倶楽部副
会長・弓場貿易株式会社 代表取締役 弓場秋信
- ③ 鹿児島で生まれる世界品質のウイスキー・焼酎・・・本坊酒造株式会社
専務取締役 谷口健二
- ④ クラウド・AIを活用した大規模養殖の取組み・・・黒瀬水産株式会社
生産推進部課長 福嶋久史
- ⑤ 血管病を防ぐ桜島大根の凄い力を地域に活かす・・・鹿児島大学農学部
講師 加治屋勝子
- ⑥ パネルディスカッション

4 令和元年工業倶楽部新年大会 【参加者】121名

【日時】令和2年1月22日（水） 15:00～20:00

【会場】城山ホテル鹿児島（講演会：パール 交流パーティー：アメジスト）

- ①講演 「オランダの魅力とビジネス環境」
講師：ジェットロ海外調査部欧州ロシア CIS 課長 田中晋(すすむ)氏
- ②パネルディスカッション「スマート農業による 産業振興、地域振興の可能性」
 - ・コーディネーター 弓場秋信（ジェットロ鹿児島貿易情報センター会長）
 - ・パネラー 宮原隆和（(株)エルム代表取締役）、永井 漸（ぜん）（(株)海連専務取締役）、高橋美博（よしひろ）（(株)グッドコミュニケーションズ代表取締役）、新崎恭史（にいざき やすふみ）（(株)日本政策投資銀行南九州支店長）
- ③プレゼンテーション
 - ・(有) アジャスト：歯科業界の立場から介護業界へアプローチ
 - ・(有) 尾塚水産：豊穰の海と阿久根の豊かさを目指して
 - ・林建設（株）：我が社の生産性向上の取り組みについて
 - ・下川秀一：九州ミャンマー友好協会の歩み、現在の広報とこれから考えている事

5 知財総合支援窓口の目標値と実績

元年度鹿児島県知財総合支援窓口の支援件数

単位：件 %

支援項目 計画と実績	相談支援件数 合計 A	専門家活用 支援件数 (Aの内数)	新規相談件 数 (Aの内数)	普及啓発の訪 問企業数	臨時窓口開設 (県工業技術センター等)	
					本土	離島
年間計画 件	1,780	314	413	493	36回	12回
実績 件	1,983	413	418	503	63回	13回
達成率 %	111.40	131.52	101.21	102.02	175.00	108.33

6 ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

(1) 第76回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

【日時】令和元年5月8日(水)

【会場】ジェイドガーデンパレス 【参加者】121名

【内容】第I部 ビジネスプラン発表

① 有限会社アジャスト【鹿児島市】

高齢者の自立支援と介護者の負担軽減に役立つ義歯洗浄ブラシ「デンチャーブラシR」の販路拡大

② 株式会社エルム【南さつま市】

水耕栽培、水耕苗、土耕苗の栽培が可能なコンテナ型栽培システム「EcoNurseryR」の優位性と販路拡大

③ 株式会社喜界島薬草農園【喜界町】

「ボタンボウフウ」など喜界島の地域資源を活かして地域と共存共栄する商品の開発と販路拡大

第II部 交流会(情報交換・名刺交換等)

(2) 第77回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

【日時】令和元年11月13日(水)

【会場】ジェイドガーデンパレス 【参加者】110名

【内容】第I部 ビジネスプラン発表

① 株式会社シナプス【鹿児島市】

業務効率UPを実現し、進化し続けるセルフオーダーシステム「SALTe(ソルテ)」

② 株式会社日置精工【日置市】

落花生回転式選別機などの開発、製造による食品分野等への進出及び販路拡大

③ 宝生産業株式会社【福岡市博多区】

自然の力でグリストラップの悩みを解消! 清掃手間・費用・時間を全て解消するグリストラップソリューション

第Ⅱ部 交流会（情報交換・名刺交換等）

（3）第78回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

【日時】令和2年2月12日（水）

【会場】ジェイドガーデンパレス 【参加者】116名

【内容】第Ⅰ部 ビジネスプラン発表

- ① 濱田酒造株式会社【いちき串木野市】
本格焼酎「だいやめ」がIWSC部門最高賞を受賞！世界の蒸留酒「S
HOCHU」の販路拡大
- ② 南九ハンズ合同会社【南さつま市】
いよいよ散水ノズルはハイブリッドノズル時代 新技術散水ノズルの販
路拡大
- ③ クルーシャル・クーリング・パフォーマンス株式会社【鹿児島市】
FGHPテクノロジーを用いた事業創生による鹿児島への貢献

第Ⅱ部 交流会（情報交換・名刺交換等）

7 プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動であり、グループごとに自発的に例会を開催し、講演、情報交換、視察、研究などを実施。

プラザ、部会、地区プラザ等それぞれの計画に従って随時開催

（実績：別紙）

8 会報の発行（所管：総務・広報委員会）

- ① 第64号（2019年6月）

（夏季号：通常総会、部会・プラザ活動状況、新会員情報、若手経営者・後継者紹介等）

- ② 第65号（2020年2月）

（新年大会号：若手経営者・後継者紹介、講演会、新会員情報等）

9 その他

- （1）委員会活動

（実績：別紙）

10 その他関連事業

- （1）鹿児島大学との連携（工業倶楽部と鹿児島大学は包括連携協定締結）

- ・食と健康に関するシンポジウム（再掲）
- ・COC+（地（知）の拠点大学による地方創生推進事業）

- （2）インターンシップ受入

インターンシップ講師派遣（2月13日（木））

宇宿小学校：（株）クラインベスト 脇野真梨江氏

- (3) かがしまデザインフェア (2月21日(金)～23日(日))
県民交流センターで開催
- (4) 鹿児島県工業倶楽部賞授与 (3月25日(水))
中村恵理氏 (農学研究科)
興柁瑠香奈氏 (農学研究科)

◇活動実施状況

<p>平成31年 4月 2日</p> <p>15日</p> <p>15日</p> <p>22日</p> <p>22日</p> <p>26日</p>	<p>八日会を開催し、情報交換を実施</p> <p>川薩地区プラザを開催し「国、県の補助事業について」と題し、かごしま産業支援センター 家村 延介氏、よろず支援拠点 森友 伸和氏が講演</p> <p>84プラザを開催し「鹿児島で開発された画期的液体肥料およびハイブリッド消臭剤について」と題し、(有) エコヨシ 北道 昌佳氏が講演</p> <p>正副会長会を開催し、平成30年度決算及び令和1年度予算について協議</p> <p>理事会を開催し、平成30年度決算及び令和1年度予算について協議</p> <p>若手経営者プラザを開催し「我が社の魅力度UP！大作戦～伝え方を少し変えただけで大きく変わるんです～」と題して、NPOマンガプロジェクト鹿児島 理事長 四元 重美氏が講演</p>
<p>令和元年 5月 8日</p> <p>17日</p>	<p>第76回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を開催</p> <p>第一部 ビジネスプラン発表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (有) アジャスト (鹿児島市) 高齢者の自立支援と介護者の負担軽減に役立つ義歯洗浄ブラシ「デンチャーブラシ®」の販路拡大について 2. (株) エルム (南さつま市) 水耕栽培、水耕描、土耕苗の栽培が可能なコンテナ型栽培システム「EcoNursery®」の優位性と販路拡大について 3. (株) 喜界島薬草農園 (喜界町) 「ボタンボウフウ」など喜界島の地域資源を活かして地域と共存共栄する商品の開発と販路拡大について <p>第二部 交流会 (情報交換・名刺交換等)</p> <p>令和元年度 通常総会をサンロイヤルホテル「エトワール」で開催 平成30年度の事業報告及び、収支決算並びに令和元年度事業計画及び収支予算(案)等について審議を行い承認・可決された</p> <p>また「プロスポーツと地域活性化」と題し、鹿児島ユナイテッドFC 代表取締役 徳重剛 氏、鹿児島レブナイズ 代表取締役社長 小牧 正英氏が講演</p> <p>プレゼンテーションとして(株)薩摩太良院 代表取締役 左近充 瞳氏による「地元農産物活用のおいしいお菓子の開発」、かねだい食品(株) 営業部長 岩重 雅也氏による「地域資源を活用した新特産品開発」、クルーシャル・クーリング・パフォーマンス 小谷 俊明氏による「鹿大発の大型照明を世界に!!」、鹿児島県知財総合支援窓口 新村孝善氏による「知的財産に関する無料相談窓口」等を発表</p>
<p>6月10日</p>	<p>八日会を開催し、情報交換を実施</p>

6月12日	84プラザを開催し「シーカヤックから見た鹿児島県の海の魅力、そしてプラスチックごみ等の今後の課題などについて」と題して、鹿児島大学産学・地域共創センター 特任教授 藤枝 繁氏が講演
21日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施
26日	川薩地区プラザを開催し「知的財産の重要な役割について」と題して、九州経済産業局 知的財産室室長 坂田 智弘氏が講演
26日	若手経営者プラザを開催しコミュニティFM「FMぎんがについて」と題し、(株)中崎電子工業 代表取締役社長 中崎 啓文氏が講演
7月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
16日	84プラザを開催し「みしま村プロジェクトについて」と題して、三島村村長 大山 辰夫氏、濱田酒造(株) 専務取締役 竹迫 昭人氏が講演
17日	工農連携（オランダに学ぶ）研究会 オランダ視察説明会を実施
20日	プラザいもづるを開催し、笠沙探訪を実施
8月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
9日	始良・霧島地区プラザを開催し、「鹿児島県の人材確保について」と題して、鹿児島県始良・伊佐地域振興局長 永田 秋人氏が講演
19日	84プラザ・食産業部会合同例会を開催し「未利用山地・農地の利活用で畜産の活性化」と題して、鹿児島大学農学部教授 後藤 貴文氏が講演
21日	鹿児島県よろず支援拠点主催として「販路拡大のためのブランディングセミナー&同時相談会」を開催 ブランディングセミナー 1. 鹿児島6次産業化サポートセンター 6次産業化企画推進員 田丸 保夫氏 「鹿児島の6次産業化の取り組み」 2. 鹿児島県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 森友 伸和氏 「販路が広がるブランディングセミナー」 3. INPIT鹿児島県知財総合支援窓口 弁理士 森田 海幹氏 「自分の商品を守ろう！商標とは？」 個別相談会は、鹿児島県よろず支援拠点・鹿児島県6次産業化サポートセンター・INPIT鹿児島県知財総合支援窓口が各ブースにて実施
21日	川薩地区プラザを開催し「災害にこれからどう向き合うか？」「水処理から落雷・地震」と題して、(株)大協 代表取締役 横山 勝一氏が講演
9月 5日	オランダスマート農業視察5日間（令和元年9月5日～9月9日） アムステルダム他（株）エルム関連会社訪問等

9月10日	84プラザを開催し「マイクロバブルの世界」と題して、(独)鹿児島工業高等専門学校 校長 氷室 昭三氏が講演
12日	八日会を開催し、情報交換を実施
13日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施
19日	食産業部会を開催し「県大隅加工技術研究センターの研究成果及び商品開発事例等について」と題して、鹿児島県大隅加工技術研究センター 技術主幹 桃坂 敬氏が講演
19日	南薩地区プラザを開催し「知的財産セミナー『特許ってこんな簡単にとれま〜す』と題して、九州経済産業局 知的財産室長 坂田 智弘氏・鹿児島県商工労働水産部産業立地課 知的財産活用推進員 肱岡 泰昭氏が講演
25日	若手経営者プラザを開催し「歌枕流『伝わる』デザインの作り方」と題して、ACTA DESIGN WORKS 歌枕 歩氏が講演
27日	オランダスマート農業視察意見交換会を実施
10月 8日	八日会を開催し、情報交換を実施
9日	正副会長会を開催し、令和元年度後半の事業活動等について協議
9日	理事会を開催し、令和元年度後半の事業活動等について協議
17日	84プラザ・食産業部会合同例会を開催し、 1. 「求められる食であるためのデザイン、ブランドと売り場の今」と題して、(株)STUDIO K 代表取締役 中島 秋津子氏が講演 2. 「知的財産の活用について」と題して、INPIT鹿児島知財総合支援窓口 亀井 英徳氏が講演
17日	川薩地区プラザを開催し、「オランダ農業視察の報告」と題してクルーシャル・クーリング・パフォーマンス(株) 取締役 小谷 俊明氏、(株)海連 専務取締役 永井 漸氏が講演
25日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施
11月 6日	八日会を開催し、情報交換を実施
13日	第77回ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」を開催 第一部 ビジネスプラン発表 1. (株)シナプス(鹿児島市) 業務効率UPを実現し、進化し続けるセルフオーダーシステム「SALTe(ソルテ)」 2. (株)日置精工(日置市) 回転式選別機の開発、製造による食品分野等への進出及び販路拡大 3. (株)宝生産業(福岡県博多区) 自然の力でグリストラップの悩みを解消! 清掃手間・費用・時間を全て解消するグリストラップソリューション 第二部 交流会(情報交換・名刺交換等)

11月19日	<p>第九回食と健康に関するシンポジウム開催 ～新技術が拓く！「食と健康の未来」～と題して下記講演会を実施</p> <p>◎特別講演 睡眠も改善！食と体内時計の新たな関係 講演者：(国研)産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 生物時計研究グループ長 大石 勝隆 氏</p> <p>講演 I 世界品質の鹿児島産ウイスキー・焼酎づくりを目指して 講演者：本坊酒造(株) 専務取締役 谷口 健二 氏</p> <p>講演 II クラウド・AIを活用したブリ養殖システム化の取組み 講演者：黒瀬水産(株) 生産推進部課長 福嶋 久史 氏</p> <p>講演 III スマート農業の今 in オランダ～工業倶楽部視察報告 講演者：工業倶楽部副会長・弓場貿易(株) 代表取締役 弓場 秋信 氏</p> <p>講演 IV “血管病”を防ぐ桜島大根の新たな価値を地域に活かす 講演者：鹿児島大学農学部 講師 加治屋 勝子 氏</p> <p>◎パネルディスカッション ◎交流会</p>
21日	九州知財活用リレーセミナー in 鹿児島を開催
28日	若手経営者プラザを開催し「ものづくりと会社経営ビジョン」と題して、(株)仙夢代表取締役社長 小田 伸 氏が講演
29日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施
12月 5日	「貿易部会」及び「食産業部会」の合同例会を開催し「ミャンマーの現状と外国人採用の現状」と題して、クオリー株式会社 代表取締役 竹之下 一也氏が講演
10日	<p>第16回 鹿児島大学 焼酎学シンポジウムを開催 「醸造業界への人材育成」と題して下記講演会を実施</p> <p>基調講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・醸造学・発酵学と教育の意義 講演者：東京農業大学名誉教授・鹿児島大学客員教授 小泉 武夫氏 ・本格焼酎50年の歩み 講演者：鹿児島大学客員教授 鮫島 吉廣 氏
10日	八日会を開催し、小鹿酒造(株)取締役 田中 高逸様黄綬褒章受賞記念会を開催
12日	川薩地区プラザを開催し、情報交換を実施
16日	産総研テクノブリッジフェア in九州2019「九州ものづくり連携推進フェア」開催
令和元年 1月 8日	正副会長による新年あいさつ回りを実施
1月22日	<p>新年大会を開催し、「オランダの魅力とビジネス環境」と題し、ジェトロ海外調査部欧州ロシアCIS課長 田中 晋氏が講演</p> <p>パネルディスカッション 「スマート農業による産業振興、地域振興の可能性」と題して、コーディネーターとしてジェトロ鹿児島貿易情報センター 会長 弓場 秋信氏、</p>

	<p>パネラーとして4名が参加</p> <p>プレゼンテーションとして(有)アジャストによる「歯科業界の立場から介護業界へアプローチ」、(有)尾塚水産による「豊穡の海と阿久根の豊かさを目指して」、林建設(株)による「我が社の生産性向上の取り組みについて」、九州ミャンマー友好協会鹿児島支部 支部長 下川 秀一氏による「九州ミャンマー協会の歩み、現在の広報とこれから考えている事」等を発表</p>
27日	84プラザ及び若手経営者プラザを開催し、「市場の変化と事業戦略」と題し、味の素株式会社 アドバイザー 吉峯 英虎氏が講演
28日	始良・霧島地区プラザを開催し、「霧島茶3年連続日本一受賞の秘訣を探る!」と題して、霧島市農政畜産課 主査 阿部 弘光氏が講演
31日	川薩地区プラザを開催し、トンネル事業専門家 二木 幸男氏が講演
2月10日	八日会を開催し、情報交換を実施
12日	<p>第78回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を開催</p> <p>第一部 ビジネスプラン発表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 濱田酒造株式会社(いちき串木野市) 本格焼酎「だいやめ」がIWSC部門最高賞を受賞!世界の蒸留酒「SHOCHU」の販路拡大 2. 南九ハンズ合同会社(南さつま市) いよいよ散水ノズルはハイブリッドノズル時代 新技術散水ノズルの販路拡大 3. クルーシャル・クーリング・パフォーマンス株式会社(鹿児島市) FGHPテクノロジーを用いた事業創生による鹿児島への貢献 <p>第二部 交流会(情報交換・名刺交換等)</p>
14日	プラザいもづるを開催し、情報交換を実施
21日	<p>逆ラボツアーを開催</p> <p>内容:協業組合ユニカラー工場視察 九州発のエアーシャワー、与圧空調、自動濃度制御装置搭載のオフセット印刷機等の視察を行う</p>
21日	かごしまデザインフェア2020を開催(23日まで)
22日	<p>出水地区プラザ・KAGOSHIMA熱闘会議合同例会を開催</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現地視察:クレインパークいづみ、ツル観察センター、武家屋敷群、出水市中心市街地等 ② 講演:「ラムサール条約と観光活性化」 講師:元東京富士大学教授 須川 一幸氏 ③ パネルディスカッション:「ラムサール条約、日本遺産を活かしたまちづくり」 パネラー:出水市長、出水市観光協会会長、須川 一幸氏、安川あかね熱闘会議副会長 コーディネーター:米山 高兆事務局長

3月 4日	大隅半島地区プラザを開催し、「生産性改善について」と題し、(株)タナカサトル技術支援 田中 覚氏が講演
25日	鹿児島大学工業倶楽部賞を授与 (鹿児島大学卒業式は中止)
27日	正副会長会を開催し、令和2年度予算案等について協議
27日	理事会を開催し、令和2年度予算案等について協議

◇各種会合等一覧表

月	総会・理事会 正副会長会	委員会等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
平成 31年 4	正副会長会 理事会		八日会、川薩地区プラザ、84プラザ、若手経営者プラザ	6
令和 1年 5	通常総会	特命委員会	ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」	3
6		総務・広報委員会	八日会、84プラザ、プラザいもづる、川薩地区プラザ、若手経営者プラザ	6
7		特命委員会	八日会、84プラザ、工農連携（オランダに学ぶ）研究会、プラザいもづる	5
8		事業委員会 （8/21 プランディング セミナー）	八日会、始良・霧島地区プラザ、84プラザ、食産業部会、川薩地区プラザ	6
9		特命委員会	工農連携（オランダに学ぶ）研究会（オランダスマート農業視察）、84プラザ、八日会、プラザいもづる、食産業部会、南薩地区プラザ、若手経営者プラザ、工農連携（オランダに学ぶ）研究会（意見交換会）	9
10	正副会長会 理事会		八日会、84プラザ、食産業部会、川薩地区プラザ、九州知財活用リレーセミナー in 鹿児島、プラザいもづる	8
11		特命委員会	八日会、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、第九回食と健康に関するシンポジウム、九州知財活用リレーセミナー in 鹿児島、若手経営者プラザ、プラザいもづる	7
12			貿易部会、食産業部会、八日会、川薩地区プラザ、産総研テクノブリッジフェア in 九州2019 -九州ものづくり連携推進フェア-	5
令和 2年 1			新年大会、84プラザ、始良・霧島地区プラザ、川薩地区プラザ	4
2		総務・広報委員会 渉外委員会	八日会、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、プラザいもづる、逆ラボツアー、出水地区プラザ	7
3	正副会長会 理事会		大隅半島地区プラザ	3
各種会合回数 69回				

◇各委員会活動実績

委員会名	月 日	内 容	場 所
総務・広報委員会	6月	(1) 会報No. 64号を作成・発送	鹿児島県産業会館
	2月	(1) 会報No. 65号を作成・発送	鹿児島県産業会館
事業委員会	8月21日	(1) ブランディングセミナー ・鹿児島県よろず支援拠点 「販路拡大のためのブランディングセミナー &同時相談会」	マークメイザン
渉外委員会	2月21日	(1) 逆ラボツアー 「協業組合ユニカラー～九州初のエアージャワー、与圧空調、自動能動制御装置搭載のオフセット印刷機を導入！～」	協業組合ユニカラー 十八番館
特命委員会	5月21日	(1) 食と健康に関するシンポジウム 第1回 打合せ、検討	鹿児島大学
	7月 4日	(1) 食と健康に関するシンポジウム 第2回 打合せ テーマを「新技術が拓く食と健康の未来」に決定	鹿児島大学
	9月30日	(1) 食と健康に関するシンポジウム 第3回 打合せ	鹿児島大学
	11月19日	食と健康に関するシンポジウム ～新技術が拓く！食と健康の未来～ 開催	鹿児島大学 稲盛会館

◇各部会活動実績

部会名	月 日	内 容	場 所
食産業部会	8月19日	84プラザ（第73回8月例会）と合同開催 (1) 講演「未利用山地・農地の利活用で畜産業の活性化」 講師 鹿児島大学農学部教授 後藤 貴文 氏	マークメイザン 味の八坂
	9月19日	(1) 講演「県大隅加工技術研究センターの研究成果及び商品開発事例等について」 講師 鹿児島県大隅加工技術研究センター 技術主幹 桃坂 敬 氏	ホテルタイセイ 日本料理愛
	10月17日	84プラザ（第75回10月例会）と合同開催 (1) 講演「求められる食であるためのデザイン、ブランドと売場の今」 講師 (株)STUDIO K 代表取締役 中島 秋津子 氏 (2) 講演「知的財産の活用について」	マークメイザン 味の八坂

		講師 I N P I T 鹿児島県知財総合支援窓口 亀井 英徳 氏	
	12月5日	貿易部会12月例会と合同開催 (1) 講演「ミャンマーの現状と外国人採用の現状」 講師 クオリー(株) 代表取締役 竹之下 一也 氏	マークメイザン よっちゃん家

◇ プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
八日会	4月 2日	(1) 近況報告、情報交換	甲突川左岸
	6月10日	(1) 近況報告、情報交換	ごわんふる
	7月 8日	(1) 近況報告、情報交換	ごわんふる
	8月 8日	(1) 近況報告、情報交換	薩摩味市場極
	9月12日	(1) 近況報告、情報交換	薩摩イタリアン マルコポーロ
	10月8日	(1) 近況報告、情報交換	山形屋7階 ビストロトーム
	11月6日	(1) 近況報告、情報交換	MeliMelo
	12月10日	(1) 近況報告、情報交換 小鹿酒造(株) 取締役 田中 高逸 氏 黄綬褒章受章記念会	サンロイヤル ホテル「嵐山」
	2月10日	(1) 近況報告、情報交換	薩摩味市場極
84 プラザ	4月15日	(1) 講演「鹿児島で開発された画期的液体肥料およびハイブリッド消臭剤について」 講師 (有)エコヨシ 北道 昌佳 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	ソーホー鹿児島 名山堀わさん
	6月12日	(1) 講演「シーカヤックから見た鹿児島の海の魅力、そしてプラスチックごみ等の今後の課題などについて」 講師 鹿児島大学 産学・地域共創センター 特任教授 藤枝 繁 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	マークメイザン 味の八坂
	7月16日	(1) 講演「みしま村焼酎プロジェクトについて」 講師 三島村村長 大山 辰夫 氏 濱田酒造(株) 専務 竹迫 昭人 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	マークメイザン 味の八坂
	8月19日	食産業部会8月例会と合同開催 (1) 講演「未利用山地・農地の利活用で畜産業の活性化について」	マークメイザン 味の八坂

		講師 鹿児島大学農学部教授 後藤 貴文 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	
	9月10日	(1) 講演「マイクロバブルの世界」 講師 (独)鹿児島工業高等専門学校 校長 氷室 昭三 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	マークメイザン 味の八坂
	10月17日	食産業部会10月例会と合同開催 (1) 講演「求められる食であるためのデザイン、ブランドと売場の今」 講師 (株)STUDIO K 代表取締役 中島 秋津子 氏 (2) 講演「知的財産の活用について」 講師 INPI T鹿児島県知財総合支援窓口 亀井 英徳 氏	マークメイザン 味の八坂
	1月27日	若手経営者プラザ1月例会と合同開催 (1) 講演「市場の変化と事業戦略」 講師 味の素(株)アドバイザー 吉峯 英虎 氏 (2) 今語りたいこと (3分間スピーチ)	鹿児島市 中央公民館 美華園
プラザ いもづる	6月21日	(1) 近況報告と意見交換	うんまか魚 居酒屋味市場
	7月20日	(1) 笠沙探訪	笠沙恵比寿
	9月13日	(1) 近況報告と意見交換	展望レストラン ラテラス
	10月25日	(1) 近況報告と意見交換	中崎電子工業 FMぎんが
	11月29日	(1) 近況報告と意見交換	味の八坂
	2月14日	(1) 近況報告と意見交換	貴宝丸
若手経営者 プラザ	4月26日	(1) 講演「我が社の魅力度UP！大作戦～伝え方を少し 変えただけで大きく変わるんです～」 講師 NPO法人マンガプロジェクト 理事長 四元 重美 氏	マークメイザン ぬみ屋ふとし
	6月26日	(1) 講演「コミュニティFM【FMぎんが】について」 講師 (株)中崎電子工業 代表取締役社長 中崎 啓文 氏	FMぎんが
	9月25日	(1) 講演「歌枕流『伝わる』デザインの作り方について」 講師 ACTA DESIGN WORKS 歌枕 歩 氏	マークメイザン 名山堀わさん
	11月28日	(1) 講演「ものづくりと会社経営ビジョン」 講師 (株)仙夢 代表取締役社長 小田 伸 氏	マークメイザン よっちゃん家

	1月27日	84プラザ（第76回1月例会）と合同開催 (1) 講演「市場の変化と事業戦略」 講師 味の素(株)アドバイザー 吉峯 英虎 氏 (2) 今語りしたいこと（3分間スピーチ）	鹿児島市 中央公民館 美華園
--	-------	--	----------------------

◇ 地区プラザ活動実績

プラザ名	月 日	内 容	場 所
南薩地区 プラザ	9月19日	(1) 講演「知的財産セミナー『特許ってこんな簡単に取 れま〜す』 講師 九州経済産業局 知的財産室 室長 坂田 智弘 氏 鹿児島県商工労働水産部産業立地課 知的財産活用推進員 肱岡 泰昭 氏	南さつま市 商工会議所 Kitchenがーろ
川薩地区 プラザ	4月15日	(1) 講演「国、県の補助事業について」 講師 かがしま産業支援センター 森友 伸和氏 講師 かがしま産業支援センター 家村 延介氏	川内ホテル
	6月26日	(1) 講演「知的財産の重要な役割について」 講師 九州経済産業局 知的財産室室長 坂田 智弘 氏	川内ホテル
	8月21日	(1) 講演「災害にこれからどう向き合うか？」 「水処理から落雷・地震」 講師 (株)大協 代表取締役 横山 勝一氏	川内ホテル
	10月17日	(1) 講演「オランダ農業視察の報告」 講師 クルーシャル・クーリング・パフォー マンス(株) 取締役 小谷 俊明 氏 (株)海連 専務取締役 永井 漸 氏	川内ホテル
	12月12日	(1) 近況報告、情報交換	川内ホテル
	1月31日	(1) 講演 トンネル事業専門家による講演 講師 二木 幸男氏	川内ホテル
	出水地区 プラザ	11月22日	出水地区プラザ・KAGOSHIMA 熱闘会議合同例会 (1) 現地視察：クレインパークいずみ、ツル視察セン ター、武家屋敷群、出水市中心街地等 (2) 講演「ラムサール条約と観光活性化」 講師 元東京富士大学教授 須川 一幸氏 (3) パネルディスカッション パネラー：出水市長、出水市観光協会長、 須川 一幸氏、安川あかね熱闘会議副会長 コーディネーター：米山 高兆事務局長

始良・霧島 地区プラザ	8月9日	(1) 講演「鹿児島県の人材確保について」 講師 鹿児島県始良・伊佐地域振興局 局長 永田 秋人 氏	豚 珍 館
	1月28日	(1) 講演「霧島茶3年連続日本一受賞の秘訣を探る!」 講師 霧島市農政畜産課 主査 阿部 弘光 氏	始 良 市 豚 珍 館
大隅半島 地区プラ ザ	3月4日	(1) 講演「生産性改善について」 講師 (株)タナカサトル技術支援 代表取締役 田中 覚氏	曾 於 市 レストラン赤坂

◇ 研究会活動実績

研究会名	月 日	内 容	場 所
工農連携 (オランダに学ぶ) 研究会	7月17日	(1) オランダスマート農業視察説明会 講師 (株)ミソラリンク 井上 庄司 氏	マークメイザン
	9月 5日 ～ 9月 9日	(1) オランダスマート農業視察 5日間 ・(株)エルム関連会社訪問 ・アムステルダム市内観光 (ゴッホ美術館等) ・キンデルダイク観光 (風車群) ・デルフト観光 (新市庁舎・旧市庁舎等)	オ ラ ン ダ
	9月27日	(1) オランダスマート農業視察意見交換会	マークメイザン

MEMO

貸借対照表

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,511,860	3,702,497	△ 190,637
未収金	19,908,215	19,343,256	564,959
流動資産合計	23,420,075	23,045,753	374,322
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	9,430,000	9,220,000	210,000
基本財産合計	9,430,000	9,220,000	210,000
(2) 特定資産			
周年事業積立金	1,000,000	1,200,000	△ 200,000
特定資産合計	1,000,000	1,200,000	△ 200,000
(3) その他固定資産			
什器備品	1	3	△ 2
電話加入権	72,800	72,800	0
その他固定資産合計	72,801	72,803	△ 2
固定資産合計	10,502,801	10,492,803	9,998
資産合計	33,922,876	33,538,556	384,320
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	19,000,000	17,500,000	1,500,000
未払金	564,518	900,771	△ 336,253
預り金	253,232	565,529	△ 312,297
未払消費税等	921,500	811,700	109,800
流動負債合計	20,739,250	19,778,000	961,250
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	20,739,250	19,778,000	961,250
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	0	0	0
特定資産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	13,183,626	13,760,556	△ 576,930
(うち基本財産への充当額)	(9,430,000)	(9,220,000)	(210,000)
(うち特定財産への充当額)	(1,000,000)	(1,200,000)	(△200,000)
一般正味財産合計	13,183,626	13,760,556	△ 576,930
正味財産合計	13,183,626	13,760,556	△ 576,930
負債及び正味財産合計	33,922,876	33,538,556	384,320

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
(2) 経常費用			
① 事業費	25,245,765	23,408,219	1,837,546
給料手当	10,052,208	9,338,837	713,371
賃金	4,806	7,056	△2,250
福利厚生費	1,613,006	1,484,817	128,189
退職金	0	0	0
退職金	0	0	0
表彰費	65,510	64,320	1,190
旅費交通費	2,314,296	2,090,505	223,791
通信運搬費	291,389	351,717	△60,328
消耗品費	318,682	477,976	△159,294
印刷製本費	189,000	181,656	7,344
会議費	294,160	289,100	5,060
諸謝金	6,287,290	5,622,264	665,026
賃借料	1,858,679	1,791,956	66,723
広告料	16,500	10,000	6,500
支払利息	246,737	265,215	△18,478
租税課費	1,638,800	1,432,800	206,000
雑費	54,702	0	54,702
② 管理費	26,785,143	25,512,547	1,272,596
給料手当	18,326,974	17,779,846	547,128
福利厚生費	2,794,696	2,801,968	△7,272
退職金	288,000	288,000	0
退職金	109,089	0	109,089
旅費交通費	130,930	198,365	△67,435
通信運搬費	323,406	266,810	56,596
消耗品費	368,531	341,505	27,026
印刷製本費	545,727	530,604	15,123
会議費	1,214,705	1,008,068	206,637
諸謝金	0	50,000	△50,000
賃借料	1,573,223	1,514,929	58,294
支払負担金	628,800	428,800	200,000
租税課費	23,150	84,100	△60,950
雑費	196,312	219,552	△23,240
顧問料	261,600	0	261,600
公益目的事業費振替額	0	0	0
経常費用計	52,030,908	48,920,766	3,110,142
当期経常増減額	△576,928	1,505,507	△2,082,435
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2	0	2
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減額	△2	0	△2
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△576,930	1,505,507	△2,082,437
他会計振替額	0	0	0
一般正味財産期首残高	13,760,556	12,255,049	1,505,507
一般正味財産期末残高	13,183,626	13,760,556	△576,930
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	13,183,626	13,760,556	△576,930

正味財産増減計算内訳書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科目	公益目的事業会計				収益事業 等会計	法人会計	合計
	知財	工業倶楽部	共通	計			
(2) 経常費用							
① 事業費	24,266,477	979,288	0	25,245,765	0	0	25,245,765
給料手当	10,052,208			10,052,208			10,052,208
賃金	0	4,806		4,806			4,806
福利厚生費	1,613,006			1,613,006			1,613,006
退職金掛金	0			0			0
退職金	0			0			0
表彰費	0	65,510		65,510			65,510
旅費交通費	1,789,066	525,230		2,314,296			2,314,296
通信運搬費	286,759	4,630		291,389			291,389
消耗品費	316,832	1,850		318,682			318,682
印刷製本費	189,000			189,000			189,000
会議費	0	294,160		294,160			294,160
諸謝金	6,287,290			6,287,290			6,287,290
貸借料	1,849,479	9,200		1,858,679			1,858,679
広告料	0	16,500		16,500			16,500
支払利息	246,737			246,737			246,737
租税公課	1,636,100	2,700		1,638,800			1,638,800
雑費	0	54,702		54,702			54,702
② 管理費	11,295,868	9,492,906	0	20,788,774	0	5,996,369	26,785,143
給料手当	9,825,379	6,387,877		16,213,256		2,113,718	18,326,974
福利厚生費	1,470,489	747,391		2,217,880		576,816	2,794,696
退職金掛金	0	172,800		172,800		115,200	288,000
退職金	0	65,453		65,453		43,636	109,089
旅費交通費	0	111,855		111,855		19,075	130,930
通信運搬費	0	268,427		268,427		54,979	323,406
消耗品費	0	294,676		294,676		73,855	368,531
印刷製本費	0	329,791		329,791		215,936	545,727
会議費	0	0		0		1,214,705	1,214,705
諸謝金	0	0		0		0	0
貸借料	0	938,722		938,722		634,501	1,573,223
支払負担金	0	0		0		628,800	628,800
租税公課	0	18,343		18,343		4,807	23,150
雑費	0	157,571		157,571		38,741	196,312
顧問料	0	0		0		261,600	261,600
公益目的事業費振替額	4,091,718	△4,091,718		0			
経常費用計	39,654,063	6,380,476	0	46,034,539	0	5,996,369	52,030,908
当期経常増減額	0	△762,102	0	△762,102	0	185,174	△576,928
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
固定資産除却損		1		1		1	2
経常外費用計	0	1	0	1	0	1	2
当期経常外増減額	0	△1	0	△1	0	△1	△2
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	0	△762,103	0	△762,103	0	185,173	△576,930
他会計振替額	0	762,103		762,103		△762,103	0
一般正味財産期首残高	0	1,690,802		1,690,802		12,069,754	13,760,556
一般正味財産期末残高	0	1,690,802	0	1,690,802	0	11,492,824	13,183,626
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	1,690,802	0	1,690,802	0	11,492,824	13,183,626

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	9,220,000	210,000	0	9,430,000
小計	9,220,000	210,000	0	9,430,000
特定資産 周年事業積立金	1,200,000	0	200,000	1,000,000
小計	1,200,000	0	200,000	1,000,000
合計	10,420,000	210,000	200,000	10,430,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	9,430,000	(0)	(9,430,000)	—
小計	9,430,000	(0)	(9,430,000)	—
特定資産 周年事業積立金	1,000,000	(0)	(1,000,000)	—
小計	1,000,000	(0)	(1,000,000)	—
合計	10,430,000	(0)	(10,430,000)	—

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
プロジェクター	135,975	135,974	1	
合計	135,975	135,974	1	

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 令和元年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	—
合計		0	200,000	200,000	0	—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
「財務諸表に対する注記」に記載

2. 引当金の明細
引当金なし

財産目録
令和2年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・数量等		使用目的等	金額	
現金預金	手許現金	鹿児島銀行本店No. 1350394	運転資金		
		鹿児島銀行本店No. 3087965	運転資金	609,538	
		鹿児島銀行本店No. 3087965	運転資金	2,887,005	
		南日本銀行本店No. 484160	運転資金	15,317	
			小計	3,511,860	
未収金		委託事業清算金		19,908,215	
	他会計貸付金			0	
流動資産合計				23,420,075	
基本財産	定期預金	鹿児島銀行 本店No. 4129047	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的82.2% ・管理目的17.8%	3,430,000	
		南日本銀行 本店No. 343960		3,000,000	
		鹿児島相互信用金庫 本店No. 1611656		3,000,000	
			小計	9,430,000	
特定資産	普通預金	鹿児島銀行 本店No. 3170092	周年事業積立金	1,000,000	
その他固定資産	什器備品	プロジェクター 1台	公益目的及び管理目的としての 共有財産 ・公益目的83% ・管理目的17%	1	
	電話加入権	099-225-8012 他 4回線		72,800	
固定資産合計				10,502,801	
資産の部 合計				33,922,876	
短期借入金	鹿児島銀行	運転資金借入		19,000,000	
未払金	3月分社会保険料 健康保険・厚生年金・児童手当拠出金			259,045	
	労働保険料	R元年度確定労働保険料差額		3,084	
	通信料	インターネット、電話回線使用料等		16,992	
	消耗品費	(株)久永		38,660	
	支払利息	鹿児島銀行 借入金利息		246,737	
					0
	他会計借入金				0
小計				564,518	
預り金	預り金	3月分社会保険料	職員分預り	253,232	
				0	
			小計	253,232	
未払消費税等	鹿児島税務署	R元年度消費税及び地方消費税		921,500	
他会計振替				0	
他会計振替(繰越残高調整)				0	
流動負債合計				20,739,250	
退職給付引当金				0	
固定負債合計				0	
負債の部 合計				20,739,250	
正味財産額				13,183,626	
負債及び正味財産合計				33,922,876	

監査報告書

令和2年4月16日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部
会長 岩元 正孝 殿

監事 餅田 淳一 
監事 谷口 克也 

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書、財産目録は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

議案第 2 号 役員改選について

※関係条文

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部定款（抜粋）

（役員の種類及び選任）

第 1 1 条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 20人以上30人以内

(2) 監事 2人

2 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

（略）

5 会長、副会長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（役員任期）

第 1 3 条 理事及び監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。（略）

2 理事及び監事は、再任されることができる。

MEMO

報告事項 令和2年度事業計画及び予算について

1 基本方針

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。

先行きについては、感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。

このような中で当倶楽部は、会員企業による異業種交流を深めるとともに、産学官連携を多様化しながら、技術の高度化、新技術・新製品の開発による新規事業分野への進出等を促進し、県内工業の健全な発展に寄与する活動を展開してきたところである。

そして令和2年度も、これまでの異業種交流に加え、知的財産権について中小企業等が企業経営の中で抱える悩みや課題を一元的に受け付け、知財専門家や県内中小企業支援機関と協働して解決に導く、国の「知財総合支援窓口運營業務」に取り組むとともに、鹿児島県工業倶楽部法人設立30周年記念事業も実施することとする。

また、地域の課題を解決するため、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されるSDGs（エス ディー ジーズ）への取り組みについても検討していく。

これらの取り組みにより、会員企業の事業活動の拡充を支援し、会員相互の一層の交流促進を図るとともに、公益社団法人として、会員外の企業・団体等も含めて、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財)かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内工業の発展や地域の振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開していく。

2 主要事業

(活性化事業)

- ① まち・ひと・しごと創生事業に対する提言等 **【特命委員会】**
- ② 公益社団法人化に伴うイメージアップのための
提案及び知財を活用した産業活性化の推進 **【特命委員会】**
- ③ 工業倶楽部活性化のための提案 //
- ④ 新規会員の加入促進 **【総務・広報委員会】**

(異業種交流事業)

- ① 時代を先取りするものづくり異業種交流事業の実施 **【事業委員会】**

- ・企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等を促進するため異業種企業の連携による取り組みで経営基盤の確立を促進する。
- ・医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等の分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発への取り組みを促進する。
- ・異業種交流事業を通しての新規会員の獲得 **【総務・広報委員会】**

② 県外の工業団体等との交流促進

【渉外委員会】

- ・九州内の工業団体等の交流による情報、意見の交換等の促進を図る
- ・県外産業界等との交流による会員の事業充実、資質向上を促進する
- ・鹿児島大学、県工業技術センター、かごしま産業支援センター、二水会との交流

③ 新しい時代に対応した工業倶楽部のプラットフォーム化の研究

【事業委員会】

④ 農業と連携した産業振興の研究

//

⑤ プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進

//

(産・学・官連携事業)

① 鹿大等との交流連携の推進

- ・企業のニーズと大学等のシーズのマッチングによる具体的結果の出る取り組みの推進 **【渉外委員会】**

- ・「食と健康に関するシンポジウム」の開催

【特命委員会】

② 若者就職活動に関するサポート活動の強化

【特命委員会】

- ・各種インターンシップの援助等

③ 会員大学教授・名誉教授等による相談対応

【渉外委員会】

(広報・デザイン開発事業)

① 工業倶楽部の知名度アップ

【総務・広報委員会】

- ・当倶楽部のイメージアップを図るため、県、県議会、マスコミ等との交流の推進

- ・会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、ホームページの利活用による当倶楽部の知名度アップ促進

(法人設立30周年記念事業)

① 法人設立30周年を記念して、各種事業を実施

【特命委員会】

3 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当年度における借り入れ予定

① 知財総合支援窓口設置に係る短期借入（借入限度額：3200万円）

- ・ 6月～11月 各300万円

（6月～11月 合計 1800万円）

- ・ 概算払い制度を活用し、借入額の縮減に努める。

(2) 設備投資の見込みについて

なし

※一般法人法（抜粋）

第5款 理事会（理事会の権限等）

第90条 理事会は、すべての理事で組織する。

2～3（略）

4 理事会は、次に掲げる事項その他重要な業務執行の決定を理事に委任することができない。

一 重要な財産の処分及び譲受け

二 多額の借財

三～六（略）

MEMO

一 般 会 計 事 業 計 画 (令和2年度)

事 業 名	事 業 内 容	事業費(円)
1 総務企画事業		<u>1,925,000</u>
(1) 理事会及び正副会長会	総会の議決した事項その他組織・運営・事業等、業務の執行に関することを決定する。	45,000
(2) 委員会(4委員会)	理事会で決定した業務等を所管の委員会が推進する。	20,000
(3) 部会及びプラザの代表者会議	部会及びプラザの活動を推進するための、事業・予算及び活動計画等の確認	10,000
(4) 通常総会	令和元年度通常総会の開催	920,000
(5) 異業種交流大会の開催 (新年大会)	<div style="display: flex; align-items: center;"> } 会員の資質向上を図るとともに、会員間の交流を深めることにより、新規事業分野への進出等を促進する。 </div>	890,000
(6) 異業種交流大会の開催 (秋季大会)		0
(7) 新規会員の加入促進運動	魅力ある工業倶楽部を実現するため、委員会・部会・研究会・プラザ等の充実を通して組織強化を図る。会員増強に力を入れ、各会員が1名の会員加入をするよう積極的に行動を起こす運動を展開する。	20,000
(8) 国際交流への負担金	県日中友好協会、鹿児島日韓親善協会等への参加協力ほか	20,000
2 異業種交流事業		<u>390,000</u>
(1) 部会活動推進事業	情報ネットワーク部会、食産業部会、貿易部会等の活動を推進する。	40,000
(2) プラザ活動推進事業	八日会、84プラザ、さつまプラザ、プラザいもづる、プラザさくらじま、地域資源活用プラザ、若手経営者プラザでの交流、活動を推進する。	100,000
(3) 研究会活動推進事業	工農連携(オランダに学ぶ)研究会、スマート農業の展開等特定テーマ、課題解決のための研究会の活動推進。	40,000
(4) 地区プラザの充実及び円滑な運営の推進	県内各地の地区プラザの充実を促進し、地域産業の発展に貢献する。	85,000
(5) 出前交流事業	セミナーの開催等地域の会員企業・団体との交流を通じて、地区プラザ等の活性化、会員の確保、地域の振興に資する。	40,000
(6) 県外工業団体等との交流	県外の企業や産業界等との交流を推進する。	85,000

3 産・学・官連携事業		<u>520,000</u>
(1) 鹿大等との連携	「学」との交流、連携の推進 ①鹿大との交流・連携の推進 ②地域貢献に黙する活動(シンポジウム) ③鹿児島大学工業倶楽部賞の授与 ④高専、研究、教育機関等との交流の推進	310,000
(2) 県・公設試・各種団体等との連携	「官」との交流、連携の推進 ①鹿児島県(産業立地課、工技センター、産業支援センター)との連携 ②その他関連する団体等との交流	200,000
(3) インターンシップ、講師派遣等の推進	学生のインターンシップ、県教委キャリア教育推進事業等への協力	10,000
4 広報・デザイン開発活動事業		<u>363,000</u>
(1) 情報の収集及び会報・KICニュースの発行	異業種交流、産学官連携及び講演会、セミナー等の情報の提供、会員の情報発信 配付先: 会員、県及び関係機関、その他関係団体等	240,000
(2) 工業倶楽部案内	ホームページ充実等による工業倶楽部及び会員の紹介、新商品や事業展開情報等の発信	13,000
(3) マスコミ等への広報	マスコミ、県議会等との意見交換を通じた工業倶楽部のイメージアップ及び会員の資質向上	10,000
(4) デザイン開発力強化等の推進	地域産業におけるデザインマインドの高揚とデザイン開発力の強化を図るための協力等の実施	100,000
5 法人設立30周年記念事業		<u>800,000</u>
(1) 記念式典及び関連事業の実施	法人化30周年を記念し、記念式典・関係事業等を実施	800,000

正味財産増減予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
① 事業費	22,029,571	25,170,931	△ 3,141,360
給料手当	10,014,832	10,483,370	△ 468,538
賃金	2,088,076	7,840	2,080,236
福利厚生費	1,612,353	1,641,722	△ 29,369
退職金掛金	0	0	0
退職金	0	0	0
表彰費	100,000	100,000	0
旅費交通費	2,168,929	2,498,213	△ 329,284
通信運搬費	430,064	191,052	239,012
消耗品費	310,739	517,705	△ 206,966
印刷製本費	0	181,440	△ 181,440
会議費	565,000	296,491	268,509
諸謝金	0	5,702,400	△ 5,702,400
貸借料	1,985,288	1,798,098	187,190
広告料	999,890	10,000	989,890
支払利息	280,000	280,000	0
租税公課	1,474,400	1,462,600	11,800
雑費	0	0	0
② 管理費	23,897,558	27,853,547	△ 3,955,989
給料手当	14,890,986	18,190,904	△ 3,299,918
福利厚生費	2,765,772	2,923,740	△ 157,968
退職金掛金	288,000	288,000	0
退職金	0	0	0
旅費交通費	299,000	539,485	△ 240,485
通信運搬費	292,000	286,621	5,379
消耗品費	376,000	710,134	△ 334,134
印刷製本費	755,000	530,000	225,000
会議費	1,450,000	1,260,000	190,000
諸謝金	382,000	282,000	100,000
貸借料	1,696,000	1,693,995	2,005
支払負担金	428,800	628,800	△ 200,000
支払利息	0	0	0
租税公課	90,000	88,558	1,442
雑費	184,000	431,310	△ 247,310
公益目的事業費振替額			
経常費用計	45,927,129	53,024,478	△ 7,097,349
当期経常増減額	△ 1,541,445	△ 1,521,523	△ 19,922
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益		0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用		0	
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,541,445	△ 1,521,523	△ 19,922
一般正味財産期首残高	13,183,626	13,760,556	△ 576,930
一般正味財産期末残高	11,642,181	12,239,033	△ 596,852
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	11,642,181	12,239,033	△ 596,852

正味財産増減予算内訳書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計				収益事業 等会計	法人会計	合計
	知財	工業倶楽部	共通	計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用収入							
基本財産利息収入	0	1,098	0	1,098	0	295	1,393
② 受取入会金							
入会金	0	90,000	0	90,000	0	0	90,000
③ 受取会費							
正会員	0	5,172,500	0	5,172,500	0	5,172,500	10,345,000
10,000円×42会員	0	4,422,500	0	4,422,500	0	4,422,500	8,845,000
30,000円×41会員	0	210,000	0	210,000	0	210,000	420,000
55,000円×16会員	0	615,000	0	615,000	0	615,000	1,230,000
80,000円×35会員	0	440,000	0	440,000	0	440,000	880,000
105,000円×14会員	0	1,400,000	0	1,400,000	0	1,400,000	2,800,000
130,000円×5会員	0	735,000	0	735,000	0	735,000	1,470,000
155,000円×9会員	0	325,000	0	325,000	0	325,000	650,000
計162会員	0	697,500	0	697,500	0	697,500	1,395,000
			0	0	0		0
賛助会員会費	0	750,000	0	750,000	0	750,000	1,500,000
100,000円×11会員	0	550,000	0	550,000	0	550,000	1,100,000
200,000円×2会員	0	200,000	0	200,000	0	200,000	400,000
計13会員							
④ 受取補助金							
令和2年度指導団体助成金(鹿児島市)	0	200,000	0	200,000	0	0	200,000
⑤ 受取負担金							
総会懇談会負担金	0	0	0	0	0	1,260,000	1,260,000
新年大会懇談会負担金	0	0	0	0	0	630,000	630,000
⑥ 事業収入	32,439,291	0	0	32,439,291	0	0	32,439,291
⑦ 雑収益							
受取利息等収入	0	50,000	0	50,000	0	0	50,000
受取利息等収入	0	50,000	0	50,000	0	0	50,000
経常収益計	32,439,291	5,513,598	0	37,952,889	0	6,432,795	44,385,684

正味財産増減予算内訳書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計				取 益 事 業 等 会 計	法 人 会 計	合 計
	知財	工業倶楽部	共通	計			
(2) 経常費用							
① 事業費	21,345,495	684,076	0	22,029,571	0	0	22,029,571
給料手当	10,014,832	0		10,014,832		0	10,014,832
賃金	2,079,000	9,076		2,088,076		0	2,088,076
福利厚生費	1,612,353	0		1,612,353		0	1,612,353
退職金掛金	0	0		0		0	0
退職金	0	0		0		0	0
表彰費	0	100,000		100,000		0	100,000
旅費交通費	2,168,929	0		2,168,929		0	2,168,929
通信運搬費	430,064	0		430,064		0	430,064
消耗品費	310,739	0		310,739		0	310,739
印刷製本費	0	0		0		0	0
会議費	0	565,000		565,000		0	565,000
諸謝金	0	0		0		0	0
賃借料	1,985,288	0		1,985,288		0	1,985,288
広告料	989,890	10,000		999,890		0	999,890
支払利息	280,000	0		280,000		0	280,000
租税公課	1,474,400	0		1,474,400		0	1,474,400
雑費	0	0		0		0	0
② 管理費	7,942,229	9,846,149	0	17,788,378	0	6,109,180	23,897,558
給料手当	6,826,811	5,770,717		12,597,528		2,293,458	14,890,986
福利厚生費	1,115,418	906,285		2,021,703		744,069	2,765,772
退職金掛金	0	172,800		172,800		115,200	288,000
退職金	0	0		0		0	0
旅費交通費	0	293,000		293,000		6,000	299,000
通信運搬費	0	242,360		242,360		49,640	292,000
消耗品費	0	312,080		312,080		63,920	376,000
印刷製本費	0	529,795		529,795		225,205	755,000
会議費	0	0		0		1,450,000	1,450,000
諸謝金	0	341,392		341,392		40,608	382,000
賃借料	0	1,055,000		1,055,000		641,000	1,696,000
支払負担金	0	0		0		428,800	428,800
支払利息	0	0		0		0	0
租税公課	0	70,000		70,000		20,000	90,000
雑費	0	152,720		152,720		31,280	184,000
公益目的事業費振替額	3,151,567	△3,151,567		0			
経常費用計	32,439,291	7,378,658	0	39,817,949	0	6,109,180	45,927,129
当期経常増減額	0	△1,865,060	0	△1,865,060	0	323,615	△1,541,445
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	0	△1,865,060	0	△1,865,060	0	323,615	△1,541,445
他会計振替額		1,865,060		1,865,060		△1,865,060	0
一般正味財産期首残高	0	1,690,802		1,690,802		11,492,824	13,183,626
一般正味財産期末残高	0	1,690,802	0	1,690,802	0	9,951,379	△1,541,445
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	1,690,802	0	1,690,802	0	9,951,379	11,642,181

◇ 講演会

演 題：

「未活用生物資源を用いた食・薬・材の創生」

講 師：国立研究開発法人産業技術総合研究所食薬資源工学オー

プンイノベーションラボラトリ

副ラボ長 富永 健一 氏



(プロフィール)

平成3年 東京工業大学理学部化学科卒業

同年 工業技術院公害資源研究所入所

平成9年 東京工業大学にて理学博士号取得

平成13年 産業技術総合研究所設立、組織改編

平成24年 同研究所触媒化学融合研究センター官能基変換チーム研究チーム長

令和元年 同研究所食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ副ラボ長

筑波大学協働大学院教授

北海道大学触媒科学研究所客員教授

(公社)新化学技術推進協会グリーン・サステイナブルケミストリーネッ

トワーク運営委員

(講演概要)

自然界に存在する天然有機化合物は、人手による合成化学では容易に合成することができない複雑な構造を持つ数々の化合物を提供している。近年、二酸化炭素排出削減の観点から、これを石油に代わる原料として利用する動きが進んでいる。また天然有機化合物の中には人の健康の維持・促進に役立つ未知の機能を持つものも少なくない。

本講演では、天然に大量に存在する有機化合物として木粉を原料とする材料用途の化学品への変換技術や、植物に含まれる成分を原料として、より高度な食薬機能を発現する成分へと変換する技術の例を紹介する。